

4

転出者へのアンケート

(1) 調査の目的等

◆目的

転出者(過去に霧島市に住んでおり、現在、霧島市外に居住する者)の「転出の経緯」、
「今後の転入意向」を把握することで、転出抑制による人口増加を図る施策等を検討する
うえでの参考とする。

◆調査対象

霧島市外へ転出された 20 歳代～50 歳代の方:250 人

◆調査対象の選定方法

住民基本台帳データを基に、一定期間内に霧島市外へ転出された 20 歳代～50 歳代 250
人を無作為で抽出

◆実施方法

郵送による配布, 回収

◆実施期間

平成 27 年 6 月下旬～7 月上旬

◆回収率

回収数～82 件 回収率:32.8%

◆調査項目

- ・回答者の属性(年齢、性別、職業、居住地 など)
- ・回答者の転出経緯(転出時の年齢、理由 など)
- ・回答者の転入意向(霧島市のイメージ、市への意見 など)

調査結果のポイント

【回答者の属性】

- 男女が半々。
- 20～30歳代が6割。
- 県内（霧島市以外）居住が6割。
九州内居住が2割。うち半分が福岡。
- 5割が過去に旧国分市に住んでいた。
- 「夫婦と子ども」、「夫婦のみ」の世帯が6割、単身世帯は2割

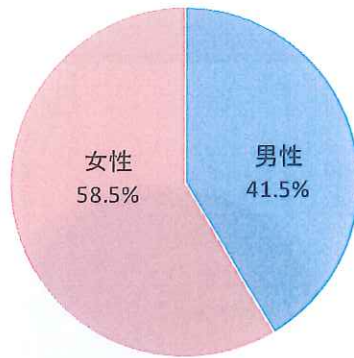
【転出の経緯】

- 転出した年齢は、「22～39歳」が5割。
⇒ 就職や転勤での転出と思われる。
- 転出の理由として
 - 「市外に気に入った土地や家、マンションがあった」が1割。
全員、鹿児島県内に居住。
- 霧島市が住みにくかった人が1割。
また、霧島市に住みたいと思わない人も1割。
⇒ 住みたいと思わない理由は、身上の理由を除くと
「働く場や機会がない」、「交通の便が悪い」
「通勤・通学、買い物が不便」

(2)アンケート結果:回答者の属性

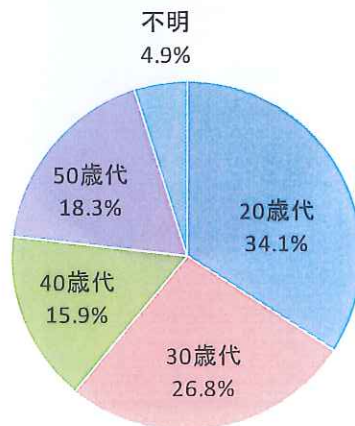
①問1 性別

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	男性	34	41.5	41.5
2	女性	48	58.5	58.5
	不明	0	0.0	
	N (%ベース)	82	100	82



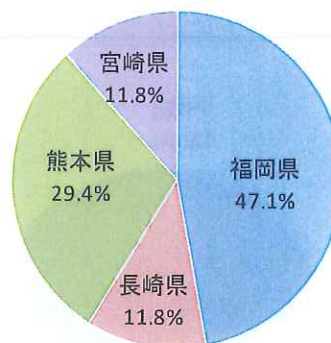
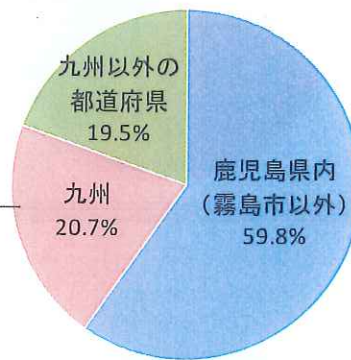
②問2 年齢

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	20歳代	28	34.1	35.9
2	30歳代	22	26.8	28.2
3	40歳代	13	15.9	16.7
4	50歳代	15	18.3	19.2
	不明	4	4.9	
	N (%ベース)	82	100	78



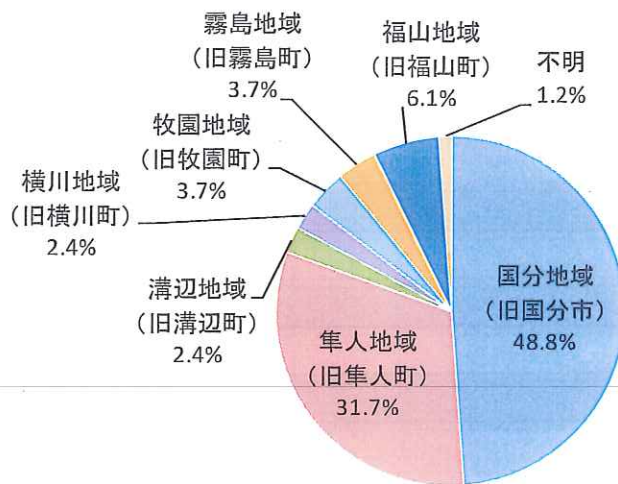
③問3 居住地

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	鹿児島県内(霧島市以外)	49	59.8	59.8
2	九州	17	20.7	20.7
3	九州以外の都道府県	16	19.5	19.5
4	海外	0	0.0	0.0
	不明	0	0.0	
	N (%ベース)	82	100	82



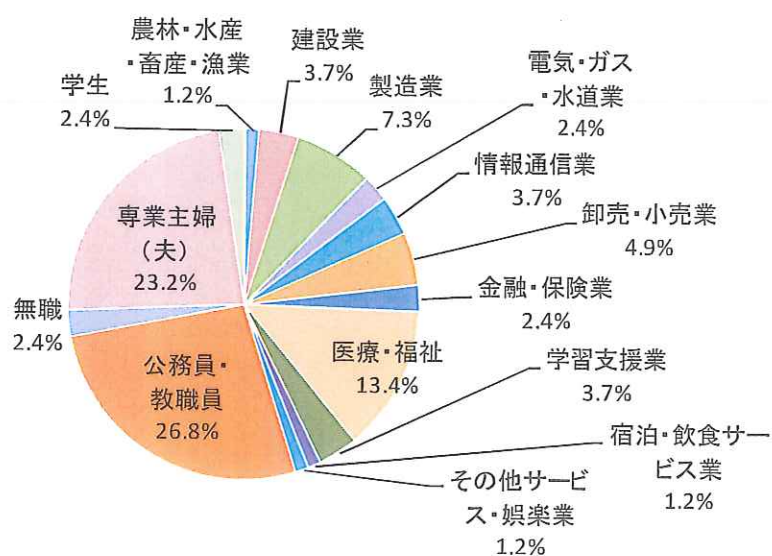
④問 4 以前住んでいた地域

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	国分地域(旧国分市)	40	48.8	49.4
2	隼人地域(旧隼人町)	26	31.7	32.1
3	溝辺地域(旧溝辺町)	2	2.4	2.5
4	横川地域(旧横川町)	2	2.4	2.5
5	牧園地域(旧牧園町)	3	3.7	3.7
6	霧島地域(旧霧島町)	3	3.7	3.7
7	福山地域(旧福山町)	5	6.1	6.2
	不明	1	1.2	
	N (%へ入)	82	100	81



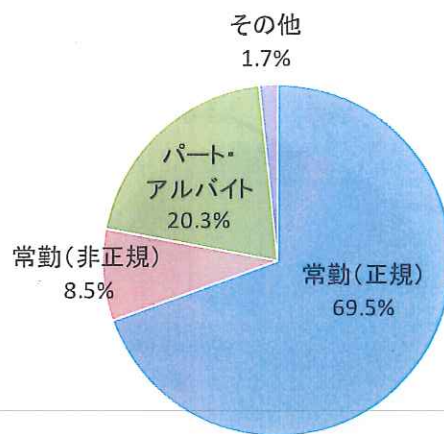
⑤問5 現在の職業(業種)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	農林・水産・畜産・漁業	1	1.2	1.2
2	建設業	3	3.7	3.7
3	製造業	6	7.3	7.3
4	電気・ガス・水道業	2	2.4	2.4
5	運輸業	0	0.0	0.0
6	情報通信業	3	3.7	3.7
7	卸売・小売業	4	4.9	4.9
8	金融・保険業	2	2.4	2.4
9	不動産業	0	0.0	0.0
10	医療・福祉	11	13.4	13.4
11	学習支援業	3	3.7	3.7
12	宿泊・飲食サービス業	1	1.2	1.2
13	その他サービス・娯楽業	1	1.2	1.2
14	公務員・教職員	22	26.8	26.8
15	無職	2	2.4	2.4
16	専業主婦(夫)	19	23.2	23.2
17	学生	2	2.4	2.4
18	その他	0	0.0	0.0
	不明	0	0.0	
	N (%ベース)	82	100	82



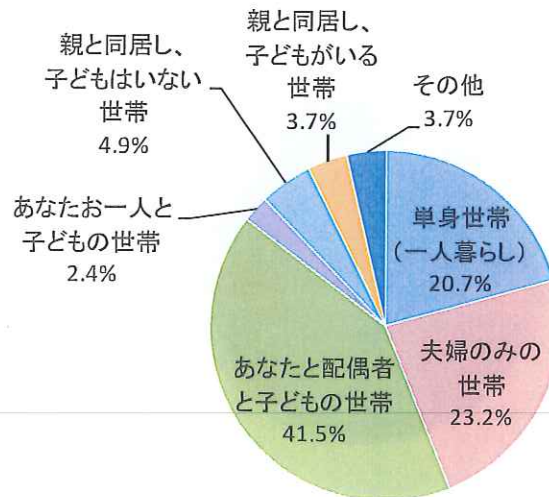
⑥問6 現在の働き方

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	常勤(正規)	41	69.5	69.5
2	常勤(非正規)	5	8.5	8.5
3	パート・アルバイト	12	20.3	20.3
4	その他	1	1.7	1.7
	不明	0	0.0	
	N (%ベース)	59	100	59



⑦問7 世帯構成

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	単身世帯(一人暮らし)	17	20.7	20.7
2	夫婦のみの世帯	19	23.2	23.2
3	あなたと配偶者と子どもの世帯	34	41.5	41.5
4	あなたお一人と子どもの世帯	2	2.4	2.4
5	親と同居し、子どもはいない世帯	4	4.9	4.9
6	親と同居し、子どもがいる世帯	3	3.7	3.7
7	その他	3	3.7	3.7
	不明	0	0.0	
	N (%ベース)	82	100	82

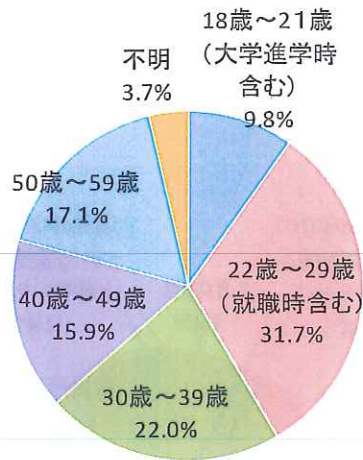


(2) アンケート結果：転出の経緯について

①問 8 霧島市を転出した年齢

○主に就職や転勤と見られる「22歳～29歳(就職時含む)」(31.7%)、「30歳～39歳」(22.0%)時での転出が多い。

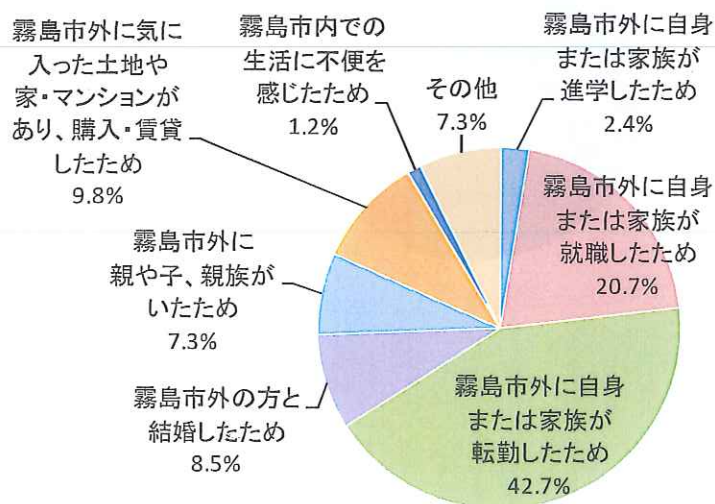
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	15歳～17歳(高校進学時含む)	0	0.0	0.0
2	18歳～21歳(大学進学時含む)	8	9.8	10.1
3	22歳～29歳(就職時含む)	26	31.7	32.9
4	30歳～39歳	18	22.0	22.8
5	40歳～49歳	13	15.9	16.5
6	50歳～59歳	14	17.1	17.7
	不明	3	3.7	
	N (%ベース)	82	100	79



②問9 転出した主な理由

○転出の主な理由としては、「霧島市外に自身または家族が就職したため」(42.7%)が最も多く、次いで「霧島市外に自身または家族が就職したため」(20.7%)が多い。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	霧島市外に自身または家族が進学したため	2	2.4	2.4
2	霧島市外に自身または家族が就職したため	17	20.7	20.7
3	霧島市外に自身または家族が転勤したため	35	42.7	42.7
4	霧島市外の方と結婚したため	7	8.5	8.5
5	霧島市外に親や子、親族がいたため	6	7.3	7.3
6	霧島市外に友人、知人がいたため	0	0.0	0.0
7	転出先の移住・定住支援策に魅力を感じたため	0	0.0	0.0
8	霧島市外に気に入った土地や家・マンションがあり、購入・賃貸したため	8	9.8	9.8
9	上記(1~8)のような理由はなく、霧島市内での生活に不便を感じたため	1	1.2	1.2
10	その他	6	7.3	7.3
	不明	0	0.0	
	N (%ベース)	82	100	82



③問 10 霧島市での生活について

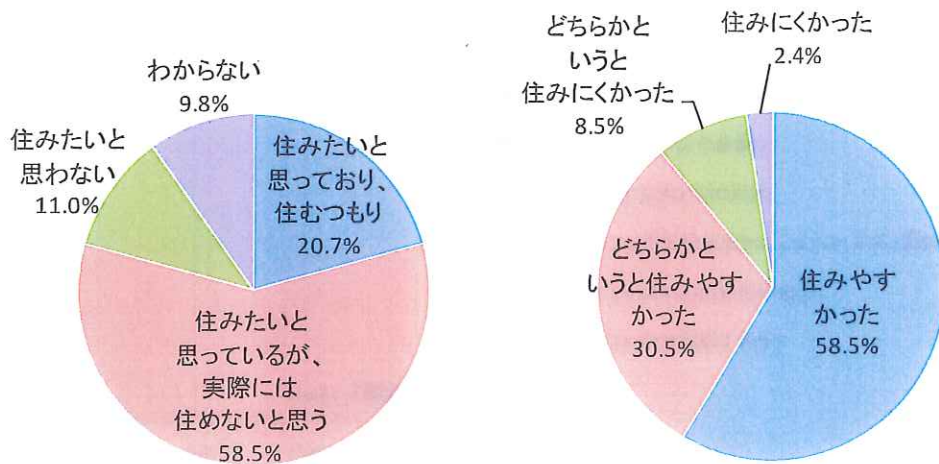
○「住みにくかった」(2.4%)、「どちらかというと住みにくかった」(8.5%)という否定的な意見が 10.9%を占める。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	住みやすかった	48	58.5	58.5
2	どちらかというと住みやすかった	25	30.5	30.5
3	どちらかというと住みにくかった	7	8.5	8.5
4	住みにくかった	2	2.4	2.4
	不明	0	0.0	
	N (%ベース)	82	100	82

④問 11 また、霧島市に住みたいと思うか

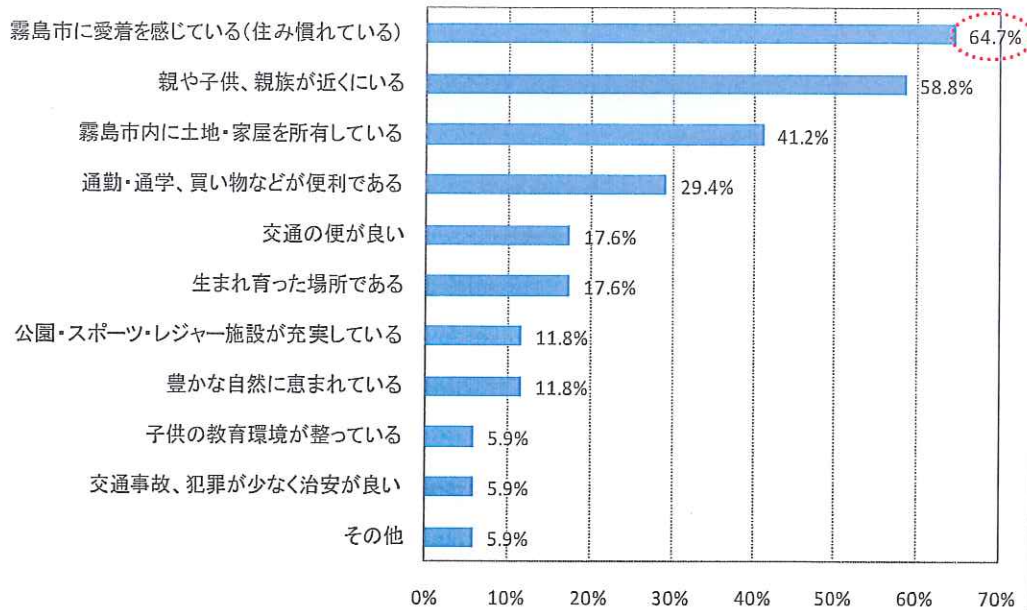
○「住みたいと思わない」という否定的な意見が 11.0%を占める。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	住みたいと思っており、住むつもり	17	20.7	20.7
2	住みたいと思っているが、実際には住めないと思う	48	58.5	58.5
3	住みたいと思わない	9	11.0	11.0
4	わからない	8	9.8	9.8
	不明	0	0.0	
	N (%ベース)	82	100	82



⑤問 12 霧島市に住みたいと思う理由 (N=17)

○「霧島市に愛着を感じている(住み慣れている)」が 64.7%を占める



⑥問 13 住みたいが住めない、住みたいと思わない理由 (N=57)

○「霧島市外に土地・家屋を所有している」(40.4%)、「生まれ育った場所が霧島市外である」(40.4%)、「親や子供、親族が霧島市外にいる」(35.1%)という身上の理由が多い。

○身上の理由を除くと、「働く場や機会がない」(22.8%)、「交通の便が悪い」(15.8%)「通勤・通学、買い物などが不便である」(12.3%)という意見が多い。

